

第44回キヤンサーボード開催のお知らせ

日時:平成22年1月19日(火) 18:00-19:00

場所:附属病院4階 第1会議室

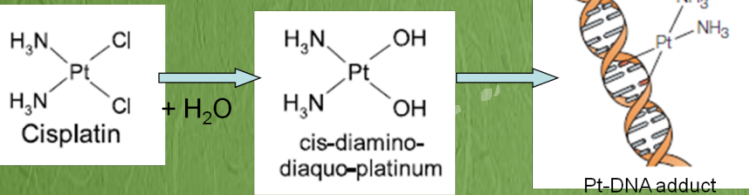
テーマ:ヘリコバクター・ピロリと胃マルトリンフォーマ
(消化器内科より)

第43回キヤンサーボード報告 プラチナ系薬剤の使い方(薬剤部より)

今回は、51名の方にご出席いただきました。ありがとうございました。

シスプラチンとは

シスプラチンはプロドラッグである



シスプラチンは生理食塩液で希釈しなければならない

腎毒性、消化器毒性が問題である

- シスプラチン50mg/m²を投与したとき重篤な腎機能障害を認めた
- シスプラチン投与4時間後から悪心・嘔吐が認められ、一週間後まで遷延した

抗がん剤として期待できない

- 低用量であっても遷延性悪心・嘔吐を認める
- 不可逆性の腎毒性を認める
- 1日投与量は20mg/m²が限度である

解決策とは

- プレハイドレーションとマンニトール併用によりシスプラチンの腎毒性は軽減可能である
- 1日最高100mg/m²まで投与可能
- 適切なハイドレーションを行う
- 遅延性悪心・嘔吐対策(制吐療法)を行う

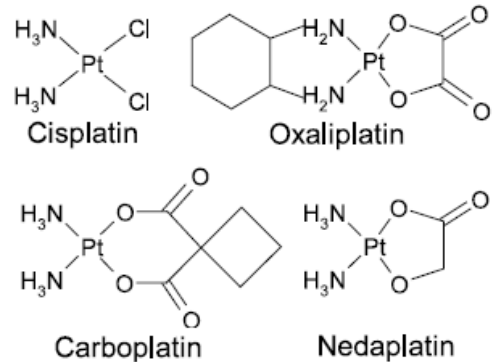
支持療法で克服できない毒性

- 末梢神経毒性(総投与量500~600mg/m²でほぼ全例に発現・回復まで数ヶ月以上かかる)
- 聴覚毒性(1回投与量80mg/m²、総投与量300mg/m²で顕著となる)

プラチナ系薬剤

シスプラチン誘導体は、シスプラチンの腎毒性、消化器毒性の軽減を目的に開発された

カルボプラチン
ネダプラチン
オキサリプラチン



プラチナ系薬剤の副作用

	消化器	腎	神経	聴覚	骨髄
シスプラチン	◎	◎	○	○	△
カルボプラチン	○		△		◎
ネダプラチン	○	○	?	○	◎
オキサリプラチン	○		◎		○

カルボプラチン、オキサリプラチンではアレルギーに注意

化学療法を行う上で、薬剤師がはたすべき役割は、
処方監査と薬歴管理であると考えている。

お問合せは・・・がんフロ 川上(内線2623) 経営企画 水野(内線2807)